市民推薦による景観資源の傾向と分布
―せたがや地域風景資産を事例に―

y10045 若林亮
主査　前田英寿
副査　桑田仁

序章　研究の背景と目的

住宅が建ち並ぶ住宅市街地の中にも歴史的・自然的な景観資源はある。 市民がそれぞれ選ぶ（思う）景観資源にどんな傾向があり、どんな場所が好まれるのかを明らかにする。 本研究では都市デザイン行政で名高い東京都世田谷区を取り上げて、 そこで選ばれた地域風景資産を通して住宅市街地における景観資源のあり方を考える。

第１章　せたがや地域風景資産の概要と分析

世田谷区による分類

世田谷区では、 昔から市民活動や区民が主体的に関わるまちづくりがさかんに行われており、 平成 11 年に世田谷区風景づくり条例ができた。条例の制度の13条に設けられたのが地域風景資産の選定である。世田谷区風景づくり条例に基づくもので、 公募による区民と区とがその制度や選定の仕組みについて 2 年間に渡って検討し、 設立された。

地域風景資産の選定は、「大切な風景を守り育てたい！」、「もっと良くしたい！」という気持ちを応援するしくみで、 地域の風景づくり活動によって世田谷全体の風景がより良くなるための「きっかけ」 作りを目指している。

平成 14 年度の第 1 回選定会で 36 ヶ所、 平成 19 年度の第 2 回選定会で 30 ヶ所の2回にわたる選定を通して、 66 ヶ所の地域風景資産が選ばれ、 各地で風景づくり活動が生まれ広がってる。 選定をきっかけにはじめて立ち上がったグループでもどんどん活動が地域に広がったり、 特定の資産で活動するのではなく、 世田谷全体の風景を考えていこうというグループも立ち上がっている。 しかし、 選定後の活動が続かない資産もあり課題になっている。

地域風景資産とは、

- 道の風景：人と人の出会いを育む道を舞台とした地域の取り組み
- 並木の風景：住宅地の四季を彩る並木の風景を守り育てる地域の取り組み
- 水辺の風景：まちに潤いをもたらす水辺からはじまる地域の取り組み
- 建物の風景：歴史を今に伝える建物を守り育てる地域の取り組み
- ランドマークの風景：まちにシンボルとなる風景を活かした地域の取り組み
- 水と緑の風景軸の風景：「世田谷区の緑の生命線」 国分寺崖線界隈を守り育てる様々な地域の取り組み
- 暮らしの中のみどりの風景：みどりある身近な環境を大切にする地域の取り組み

都市デザインの観点による再分類

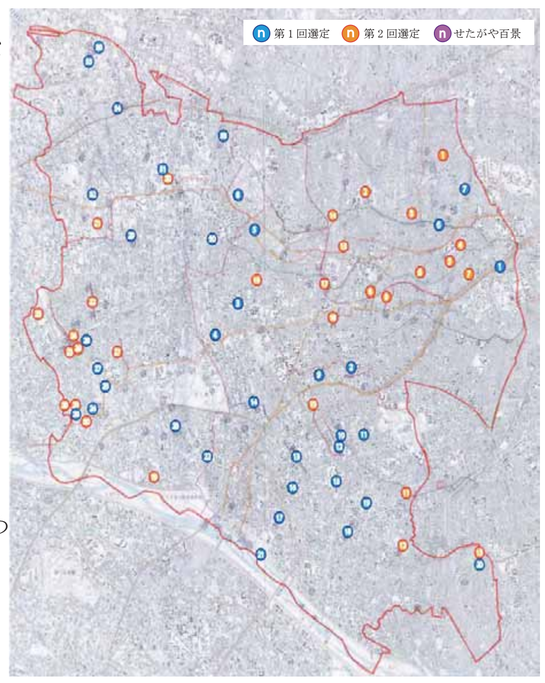
都市は、 自然や歴史、 地形などの物理的、 文化的両面から成り立っている。 ここでは、 都市デザインとして以下の 13 項目に分類分けを行った。

(1) オープンスペース系
- 緑道：桜並木やイチョウ並木などの並木、 車が入れないような小道。
- 緑地：自然林や竹林など、 まとまった緑、 面的な緑。
- シンボルツリー：1 本の木を中心としたもの。
- 公園：広場、 プレパークなど。

(2) 建築物系
- 社寺：参道や寺社かいわいなど。
- 個人宅：住宅の中で公開されていないもの。
- インフラ：橋や鉄塔など。
- 公共施設

(3) 暮らし系
- 農業：畑や原風景など
- 街並み：商店街や世田谷線界隈などの通り。
- 地区：街並みの 1 つの通りに対して、 もっと広がりのあるもの。
- 活動：地域住民の活動がメインのもの。

(4) 眺め



分類表

世田谷区による分類	選定	名前	オープンスペース 緑道	緑地	シンボルツリー	公園	建築物 インフラ	個人宅	公共施設	寺社	暮らし 農業	地区	街並み	活動	眺望	地形 緑道	古道	河川	その他	高さ 20m	25m	30m	35m	40m	45m	50m	地形 崖上	崖下	谷	平地
道の風景	第1回選定	①池尻稲荷神社を中心とする旧大山道	△							○							○	○			○								○	
		如季節の野草に出会う小径	○													○								○						○
	第2回選定	①北沢地域に隠れている石造物群 ～茶沢通り（旧こ子道）界隈～											○						○				○				○			
		⑧元気でやさしい松陰神社通り											○	△			○					○					○			
		⑨若林3丁目緑の小道	○														○						○				○			
		⑮古道・滝坂道								△			○				○					○								○
		⑱せたがやボロ市が開催される大山道						○						△			○					○								○
並木の風景	第1回選定	⑬上北沢駅前の桜並木	○																○						○					○
	第2回選定	⑩旧・新町住宅地の桜並木	○																○				○							○
		⑪四季の移ろいに心ときめく安らぎの道 「櫻並木と呑川緑道公園」		○												○						○					○			
		⑫九品仏浄真寺脇（南側）のクロマツの並木	△							○						○							○				○			
		㉒成城の桜並木といちょう並木	○																○						○		○			
水辺の風景	第1回選定	⑥代沢せせらぎ公園と北沢川緑道	○											△		○							○							○
		⑬谷沢川の桜並木	○															○					○							○
	第2回選定	㉗仙川・川面に映る桜並木道（打越橋～石井戸橋）	○															○						○					○	
建物の風景	第1回選定	②双子の給水塔の聳え立つ風景					○												○					○						○
		⑫清明邸						○								○							○				○			
		㉘成城の近代住宅						○				△							○						○					○
	第2回選定	⑦登録有形文化財の萩原邸						○											○				○							○
		⑬奥沢海軍村ゆかりの風景										○							○			○					○			
		⑲大正ロマンをのこす砧下浄水場ポンプ室					○												○	○										○
ランドマークの風景	第1回選定																													
	第2回選定	③代田の丘の61号鉄塔					○									○								○				○		
		⑰ほっとやすらぐ世田谷線界隈の情景											○						○				○							○
水と緑の風景軸の風景	第1回選定	㉔喜多見五丁目竹山市民緑地の竹林と垣根		○													○													○
		㉕喜多見大橋から見えた野川上流の眺め													○		○	○		○										○
		㉖慶元寺三重等の見える風景	△							○							○			○										○
		㉗成城三丁目緑地		○														○						○				○		
	第2回選定	㉓喜多見ふれあい広場から見た「野川と国分寺崖線の繰まった緑」	△			○												○					○					○		
		㉔成城の富士見橋と不動端					○								△				○		○				○			○		
		㉕成城3丁目の国分寺崖線の樹林		○														○					○					○		
		㉖成城3丁目桜と紅葉の並木	○																○						○			○		
		㉘喜多見・歴史の道～慶元寺・氷川神社界わい								○							○				○									○
		㉙畑の間の土の道									○						○				○									○
		㉚須賀神社とクスノキ			○					△							○			○										○
暮らしの中の緑の風景	第1回選定	③玉石垣のある風景					○						△						○					○						○
		⑤経堂の西洋館と庭						○									○								○					○
		⑦校庭で子どもたちを見守る松の木			○				△										○					○					○	
		⑨松林と大欅のある世田谷新町公園				△								○					○				○							○
		⑪秋山の森と旧秋山邸		△				○											○				○				○			
		⑯森の児童館				△			○										○				○							○
		⑳大ケヤキのある散歩道-けやき道			○														○			○					○			
		㉛蓮花恒春園花の丘				○								△		○	○							○						○
	第2回選定	②羽根木公園にある羽根木プレパーク				○								△		○								○				○		
		④三宿の森緑地		○										△		○							○				○			
		⑤大ケヤキのある円泉ヶ丘公園			○	△										○						○					○			
		⑥太子堂八幡神社と森								○						○							○							○
		⑭歩いて楽しい北沢川緑道（豪徳寺1丁目）	○													○							○							○
		⑮長嶋大榎公園界隈の緑		○		△										○							○							○
		⑳水辺の自然とふれあえる蓮花恒春園				△								○			○							○						○
		㉑祖師谷公園				○										○		○						○			○			
分類なし	第1回選定	④心なごむ桜丘の原風景								△	○						○							○						○
		⑧桜上水の野菜畑									○						○								○					○
		⑩呑川親水公園		△		○										○							○						○	
		⑭用賀プロムナード	○																○			○								○
		⑮園芸高校の並木とみどり空間	○																○					○						○
		⑰富士見橋より見た富士山の見える眺望													○			○					○					○		
		⑱等々力駅近くの寺社かいわい								○									○				○							○
		⑲等々力7丁目新井家・鈴木家かいわいの巨樹群			△			○											○					○			○			
		㉑国分寺崖線を眺められる多摩川堤													○			○		○										○
		㉒静嘉堂緑地の自然林		○														○			○									○
		㉓岡本の富士見坂-岡本3丁目の坂													○			○					○					○		
		㉙つりがね池と樹林		○															○					○					○	
		㉜祖師谷中橋					○											○						○					○	
		㉞「山本農機・山本善水商店」を中心とした旧甲州街道の街並											○				○													○
		㉟世田谷の小京都-釜六の天水橋										○							○						○					○
		㊱松葉公園				○													○						○					○
	第2回選定																													
		○	12	8	4	6	6	7	1	6	3	2	5	2	4	15	17	13	25	5	5	8	22	16	10	0	14	9	6	37
		△	4	2	1	5	0	0	1	3	0	1	1	6	1															
		合計	16	10	5	11	6	7	2	9	3	3	6	8	5															

せたがや百景

「せたがや百景」とは、昭和 59 年に世田谷区によって発案され、最終的に区民の投票によって決まった世田谷区の風景、景観の百選です。 その趣旨は、「世田谷に住む人々にとって大切な風景とは何か、それを明らかにして今後の町づくりを考えてゆくきっかけにしよう。」というものである。

第２章　地域風景資産とせたがや百景の分布

世田谷の原風景の基盤となった武蔵野台地固有の地形は、 国分寺崖線に代表される斜面地や坂道、さらには高台からの眺望、 高台にある住宅地や商店街、 さらに公園や緑地にみられる起伏などの風景に読みとることができる。

地形

古道

緑道

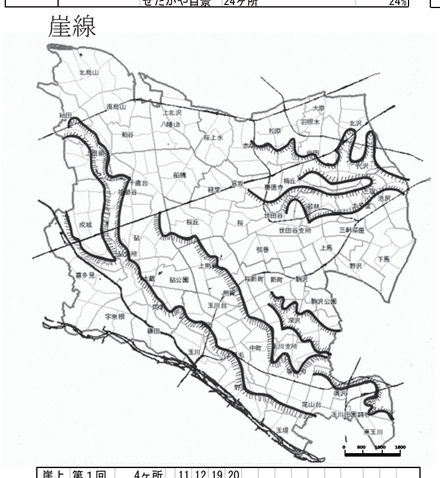
河川

古道	大山道	第1回	1, 4	2ヶ所
		第2回	9, 18	2ヶ所
		百景	2, 20, 23, 26, 81, 87	6ヶ所
	甲州街道	第1回	34	1ヶ所
		第2回		
		百景	45	1ヶ所
	青山道	第1回	5, 8, 31	3ヶ所
		第2回	8, 15, 20	3ヶ所
		百景	18, 29, 38, 39, 49, 50	6ヶ所
	登戸道	第1回	24, 25, 26	3ヶ所
		第2回	28, 29, 30	3ヶ所
		百景	54, 59, 60, 62, 63, 64, 85	7ヶ所
	鎌倉道	第1回		
		第2回		
		百景	12, 13, 14, 15	4ヶ所
	合計	第1回	9ヶ所	25%
		第2回	8ヶ所	27%
		地域風景資産	17ヶ所	26%
		せたがや百景	24ヶ所	24%

河川	野川	第1回	1, 25, 27	3ヶ所
		第2回	23, 25,	2ヶ所
		百景	57, 58, 68	3ヶ所
	仙川	第1回	23, 32	2ヶ所
		第2回	21, 27	2ヶ所
		百景	50, 53, 63, 69, 70	5ヶ所
	谷沢川	第1回	13	1ヶ所
		第2回		
		百景	90, 95	2ヶ所
	丸子川	第1回	17, 22	2ヶ所
		第2回		
		百景	72, 73, 81, 91, 92, 94	6ヶ所
	多摩川	第1回	21	1ヶ所
		第2回		
		百景	74, 75, 76, 78, 79	5ヶ所
	合計	第1回	9ヶ所	25%
		第2回	4ヶ所	13%
		地域風景資産	13ヶ所	20%
		せたがや百景	21ヶ所	21%

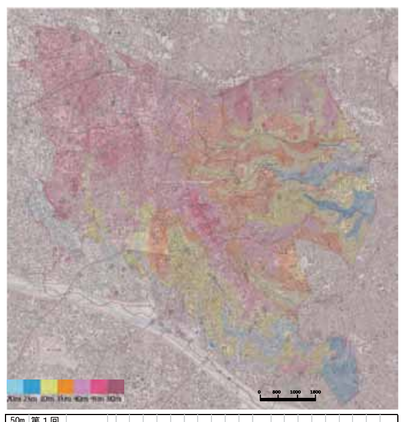
緑道	北沢川緑道	第1回	6	1ヶ所
		第2回	3, 14, 2	3ヶ所
		百景	7, 8, 9, 10, 11, 17, 31, 35	8ヶ所
	烏山川緑道	第1回	30, 31	2ヶ所
		第2回	4, 5, 6, 16, 20	5ヶ所
		百景	5, 6, 18, 21, 22, 27, 30, 39	8ヶ所
	蛇崩川緑道	第1回		
		第2回		
		百景	3, 19, 24	3ヶ所
	呑川緑道	第1回	10, 12	2ヶ所
		第2回	11	1ヶ所
		百景	89	1ヶ所
	九品仏川緑道	第1回		
		第2回	12	1ヶ所
		百景	98	1ヶ所
	合計	第1回	5ヶ所	14%
		第2回	10ヶ所	33%
		地域風景資産	15ヶ所	23%
		せたがや百景	21ヶ所	21%

崖線



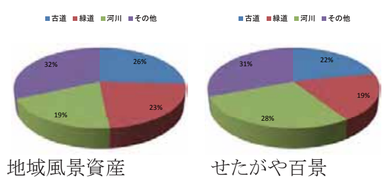
崖上	第１回	4ヶ所	11 12 19 20
	第２回	10ヶ所	1 4 5 8 9 11 12 13 21 22
	百景	14ヶ所	6 7 8 9 15 18 30 32 47 48 49 50 51 52 63 68 71 72 81 95
崖下	第１回	3ヶ所	17 23 27
	第２回	6ヶ所	2 3 23 24 25 26
	百景	14ヶ所	5 10 11 12 13 21 57 58 70 91 92 93 94 100
谷	第１回	5ヶ所	1 7 10 29 32
	第２回	1ヶ所	27
	百景	2ヶ所	17 89
平地	第１回	24ヶ所	2 3 4 5 6 8 9 13 14 15 16 18 21 22 24 25 26 28 30 31 33 34 35 36
	第２回	13ヶ所	6 7 10 14 15 16 17 18 19 21 28 29 30
	百景	64ヶ所	1 2 3 4 14 16 19 20 22 23 24 25 26 27 28 29 31 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 53 54 55 56 59 60 61 62 64 65 66 67 69 73 74 75 76 77 78 79 80 82 83 84 85 86 87 88 90 96 97 98 99

等高線



50m	第１回		
	第２回		
	百景	1ヶ所	44
45m	第１回	4ヶ所	3 34 35 36
	第２回	2ヶ所	2 22
	百景	17ヶ所	16 28 32 33 34 40 41 42 43 45 46 47 48 50 52 85 86
40m	第１回	12ヶ所	2 5 7 8 15 19 28 29 30 31 32 33
	第２回	5ヶ所	10 20 21 24 26
	百景	18ヶ所	7 14 15 25 35 36 37 38 39 49 51 53 54 55 56 65 87 99
35m	第１回	5ヶ所	4 6 9 11 12
	第２回	4ヶ所	8 15 16 18
	百景	13ヶ所	9 11 17 18 21 22 23 26 27 29 30 66 88
30m	第１回	8ヶ所	10 13 14 16 17 18 23 27
	第２回	10ヶ所	1 3 4 6 7 9 12 14 17 27
	百景	25ヶ所	1 4 6 8 10 12 13 19 20 24 31 62 64 67 70 71 81 82 83 84 89 90 93 97 98
25m	第１回	1ヶ所	1
	第２回	2ヶ所	5 11
	百景	11ヶ所	2 3 5 63 73 91 92 94 95 96 100
20m	第１回	6ヶ所	20 21 22 24 25 26
	第２回	7ヶ所	13 19 23 25 28 29 30
	百景	15ヶ所	57 58 59 60 61 68 69 72 74 75 76 77 78 79 80

古道・緑道・河川の割合



地域風景資産　　せたがや百景

崖線と標高

眺望の風景資産は、 崖上や標高の高い所にあるのではないかと考え、 崖線と等高線（標高）で分布分けを行った。 しかし、 分布分けを行った結果、 崖上や、 等高線（標高）と風景資産の関連性があまりないことがわかった。

→せたがや地域風景資産の中でみると、 目の前の緑や富士山の見える眺望など、 崖上や高低差などにあまり影響を受けない風景資産が選ばれているのではないかと考える。

仮説1　地域風景資産は緑や歴史など住民にとって快適なものを選んでいる。 商店街や高層ビルなど住民以外が使う施設や空間、 商業的賑わいや近代空間を避ける傾向があるのではないか。

→地域風景資産では、 商店街や駅前などの人が多く集まるような、 場所がほとんど選定されていない。 第 2 回選定では、 商店街の賑わいの風景や子どもの遊び場の風景、 古道に佇む石造物や丘の上にある鉄塔など、 第 1 回には見られなかったタイプの風景も選定されているが、 せたがや百景に比べて少ない。

せたがや百景では、商業的に賑わいや比較的新しいもの選ばれている。住民の目線で推薦から選定を行っている地域風景資産では、 商店街や高層ビルなど住民以外が使う施設や空間、 商業的賑わいや近代空間を避ける傾向があることがわかった。

仮説 1´　逆に地域風景資産では、 どういう場所が多く選ばれるのか。

→古道、 緑道、 河川沿いに 68%（全体の 3/4）が集中していることからも、 昔からそこにあるものや、 馴染みのあるもの、歴史や、水、緑を感じるものが多く、これらを地図上でみてみても、国分寺崖線や緑道、河川の周辺にあることがわかる。 世田谷はこうした水と緑が骨格にある風景が大切にされていることがわかる。

仮説 2　地域風景資産は住民が個々に推薦しているが、 古道や河川など歴史的地形に自ずと沿っているように思える。 また、 住民が個々に推薦しているためせたがや百景より多いのではないか。

→地域風景資産の 68%（約 3/4）は古道沿い、 緑道沿い、 河川沿いにあることがわかり、 仮説 2 がほぼ正しいことがわかった。 しかし、 住民が個々に推薦した地域風景資産とせたがや百景ともに割合に大きな違いがないことがわかったが、 地域風景資産は、 選定後も活動が継続的に続いていくことで、 より、 地域に密着した風景資産になるのと思われる。

結語

住民主体で行われているため、 選定活動が続いていること、 市民が推薦して選ばれているだめ、 選定された風景資産も継続的に活動が続いていることが特徴である。

時代が変わって、 目的や活動内容など地域風景資産のあり方を再確認する必要があるのではないか。活動がない、 活動が続いていない、 風景がわかってしまった資産はどうするのか。 活動がない名前だけの地域風景資産については見直し（再審査、 解除）が必要なのではないか。「どう変わった、 変わってきている」を示していく必要があるのではないか。 活動がある資産と活動がない資産の差異化をしてみせる方法はあるか。 などが今後の課題として考えられる。

今後も選定活動が続き、 選定された地域風景資産が守り育てられ、 地域活動が活性化することを願う。

参考文献

[1] せたがや地域風景資産マップ　2008 年　[2] せたがや地域風景資産 第 1 回・第 2 回選定ガイドブック　2009 年
[3] 地域風資産選定 10 周年記念　風景づくり 10 年。　これまで × これから　2012 年　[4] 世田谷散策記 せたがや地域風景資産インデックス http://www.geocities.jp/the_traveler_of_wind/setagaya/fukei/index.html　[6] 風景づくり通信。（世田谷区都市整備部地域整備課都市デザイン）